

医師の働き方改革

— 医師の処遇改善と医師事務作業補助者の活用—



2023年 日本病院会
医師の働き方改革に関するセミナー

足利赤十字病院 名誉院長
藤田医科大学 特命教授

小松本 悟

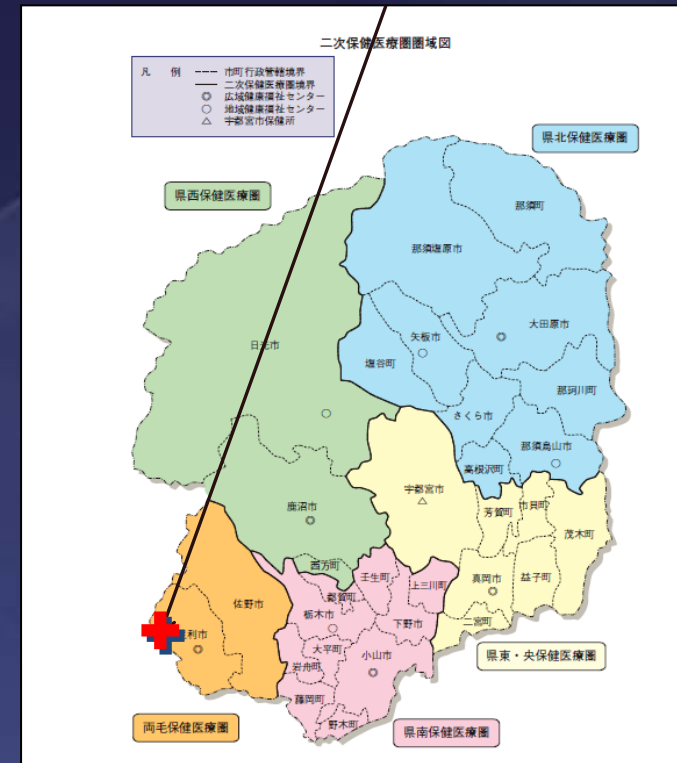
■ 病院概要

開設年月日 : 昭和24年7月1日 (平成23年7月1日全面移転)
病床数 : 540床 (一般 : 500床、精神 : 40床)
患者数 : 外来 278,952人【1日平均1,037人】
: 入院 191,649人【1日平均 524人】
病床利用率 : 全体 96.3%【一般 : 97.3%、精神 : 91.7%】
診療科 : 28診療科
職員数 : 1,280人



両毛保健医療圏

- ・ 栃木県南西部の足利市に位置し、両毛保健医療圏の中核病院
- ・ 臨床研修病院 55学会の教育研修認定施設
- ・ 独立採算性にある赤十字病院の中で、継続して黒字経営を続けている
- ・ 2015年2月、医療施設の国際的な認証機関であるJCI (Joint Commission International) の認証を取得。赤十字病院として初めて、国内では9番目に認証を取得した病院となる。
- ・ 2017年1月Japan International Hospitalに推奨される
- ・ 2017年2月臨床検査室に特化した国際規格「ISO15189」を取得
- ・ 2019年1月JMIP (Japan Medical Accreditation for International Patients) の認証を取得
- ・ 2022年2月JCIの2度目の更新



分棟型建築



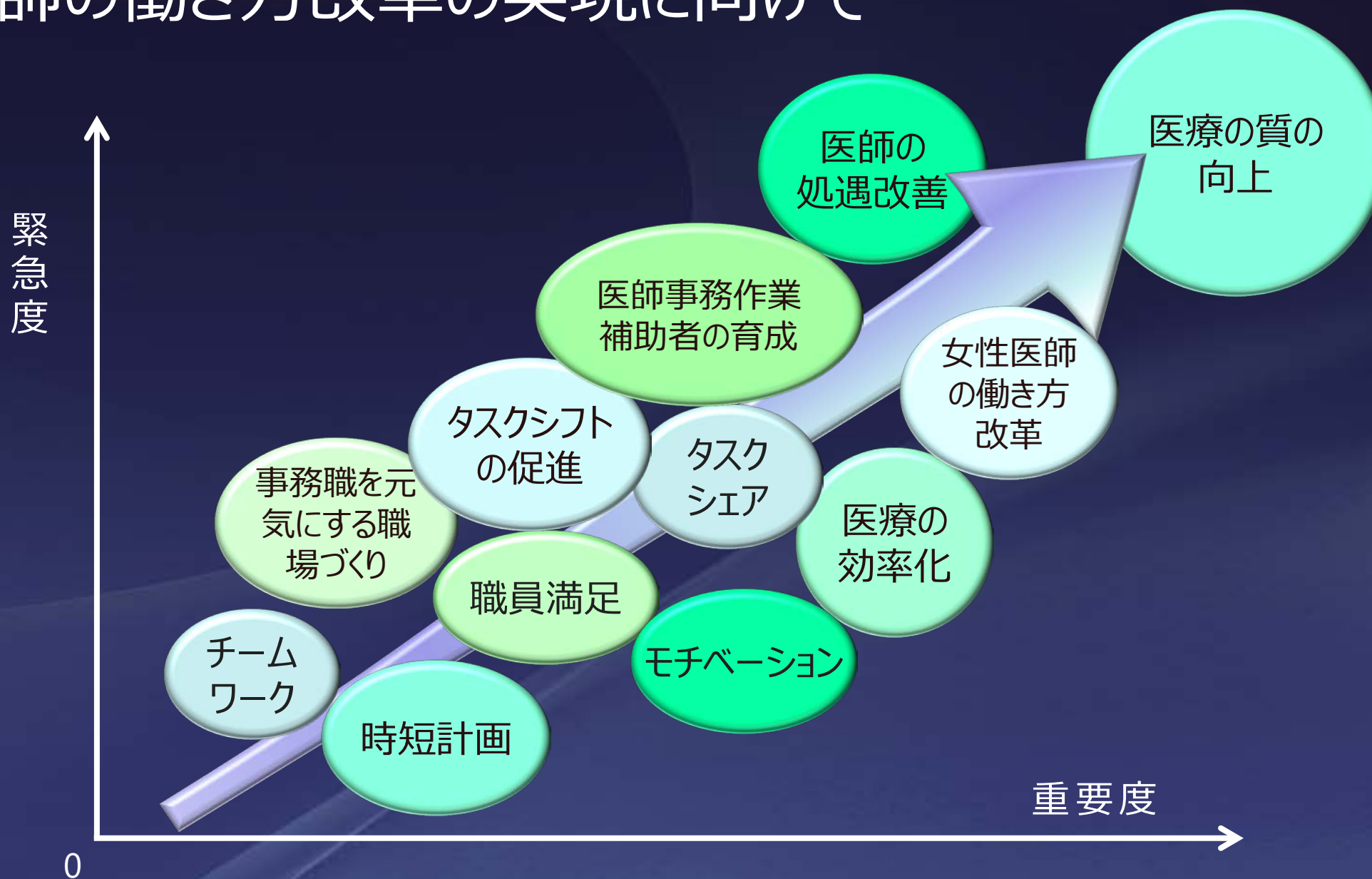
一般病棟全室個室



ホスピタルモールを軸に分棟として構成され、
将来の増築・改修に柔軟に対応する。

「成長と変化」に対応できる病院
次世代型グリーンホスピタルの実現

■ 医師の働き方改革の実現に向けて



■ 研究日の保障

学位取得のため所属医局において研究活動等を行っている医師に対して

週1回研究日を与え、出張扱いとして費用負担

- 日当、旅費、宿泊費を支給

■ 資格取得の支援

医師における認定医・専門医の取得

出張扱いとして費用負担

- 受講料、登録料を支給
- 日当、旅費、宿泊費を支給

■ 資格取得や実績を給与へ反映

医師について、認定医・専門医の取得や良好な実績があった場合は
特別昇給として、基本給(俸給)をアップ
資格取得した年度末に特別昇給

■子育て支援について

1. 休日・夜間保育、病後児の預かり

職員保育所（日赤こども園）を完備、子育て医師に働きやすい環境を提供

2. 当直や病棟勤務、時間外勤務等を免除

育児中の女性医師(男性医師)の子育て支援として、個別に相談

医師育児支援の実績

産休～育休取得	7名(女性 6名 男性1名)
当直、病棟免除	11名(女性10名 男性1名)
育児等の職場復帰支援	4名(女性 4名)

3. 休業中は当院の所属

女性医師の出産に対し、産休～育休を取得、派遣医局にも配慮

4. 男性医師の育児休業取得を推奨

妻の出産・育児に柔軟に対応できるよう配慮



■ 女性医師の取り組み

女性医師がキャリアを中断せずに関き続けられる環境整備

- 平成20年度「子育てにやさしい事業所」として栃木県知事賞を受賞
- 病院の医局内に女性ラウンジを設置
- 短時間正規職員制度の導入
- 他の常勤医との新しいタイプの「ワークシェアリング」の導入
- 女性医師とのチーム医療体制の充実
- モチベーションを高めることで正規就労への早期復帰を促す
- 女性医師出産後の処遇改善

女性ラウンジ



NHK クローズアップ現代
女性医師をいかせ
～医師不足対策の新戦略～
平成20年6月18日(水)



事務職の人材育成

■ 診療情報管理士の育成

診療情報管理士 41名

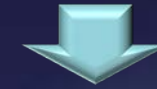
医師	2名
看護師	1名
事務職	34名
MSW	4名

受講生 5名



診療情報管理士取得費用はすべて病院負担

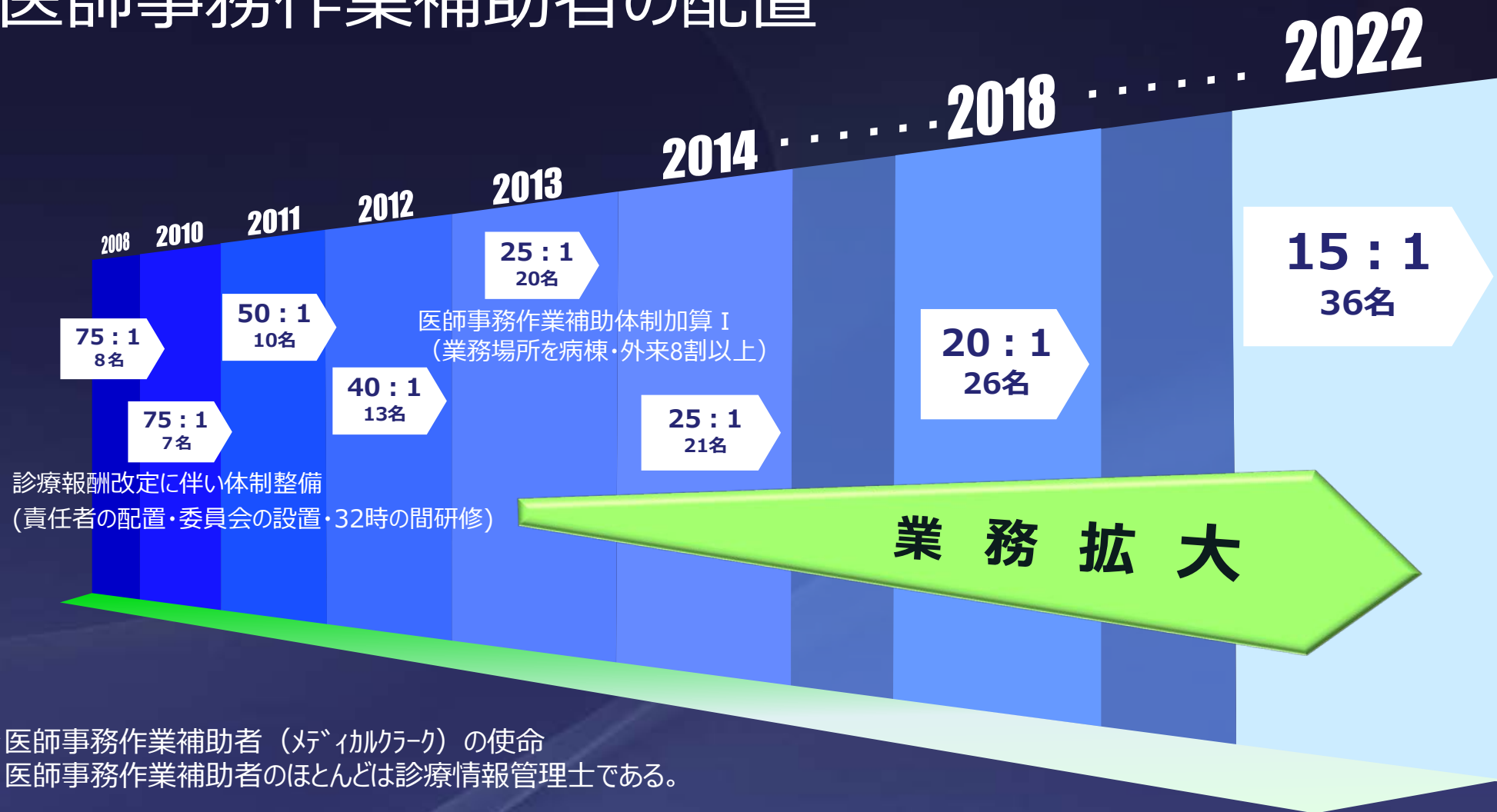
取得 ⇒ 基本給(棒給) 4号アップ



事務職を元気にする
職場創り

病院は、多職種連携組織の中で、
事務職は資格を有していない。

■ 医師事務作業補助者の配置



★医師事務作業補助者（メディカルクラーク）の使命
医師事務作業補助者のほとんどは診療情報管理士である。

多忙な医師の事務作業について医師の指示のもと業務(サポート)を行う。

医師の勤務環境の改善

■ 医師事務作業補助者の主な業務—

- 1) 診断書・意見書の作成
- 2) 外来診療における代行入力補助
- 3) 退院サマリーの作成補助
- 4) 院内がん登録・全国がん登録・臓器がん登録
- 5) データ登録⇒
NCD・JND・JOANR・周産期登録
- 6) 各種アンケート調査
- 7) 病名登録・指導料コメント入力
- 8) 紹介状掲示板入力
- 9) 学会・カンファレンス等の準備・資料作成
- 10) その他の医師事務作業補助業務

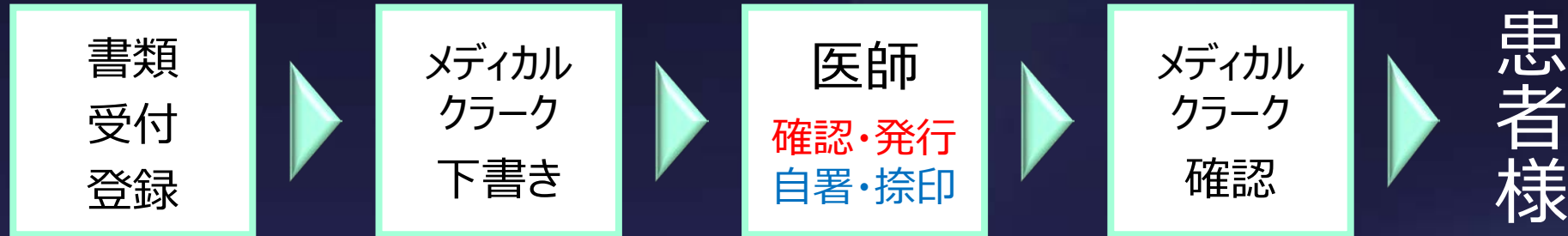


医師が診療に専念できるようになった

■ 診断書作成支援システム導入

(2013年3月スタート)

診断書作成の流れ



医師は下書きされた状態の書類に対し確認・追記を行い発行する。
出力された書類に自署・捺印する。

書類作成時間の短縮

■ 外来代行入力

多忙な診療科の外来において電子カルテ代行入力、病名入力、検査、処方、指導料等各種オーダー発行、を医師の指示のもと実施する。

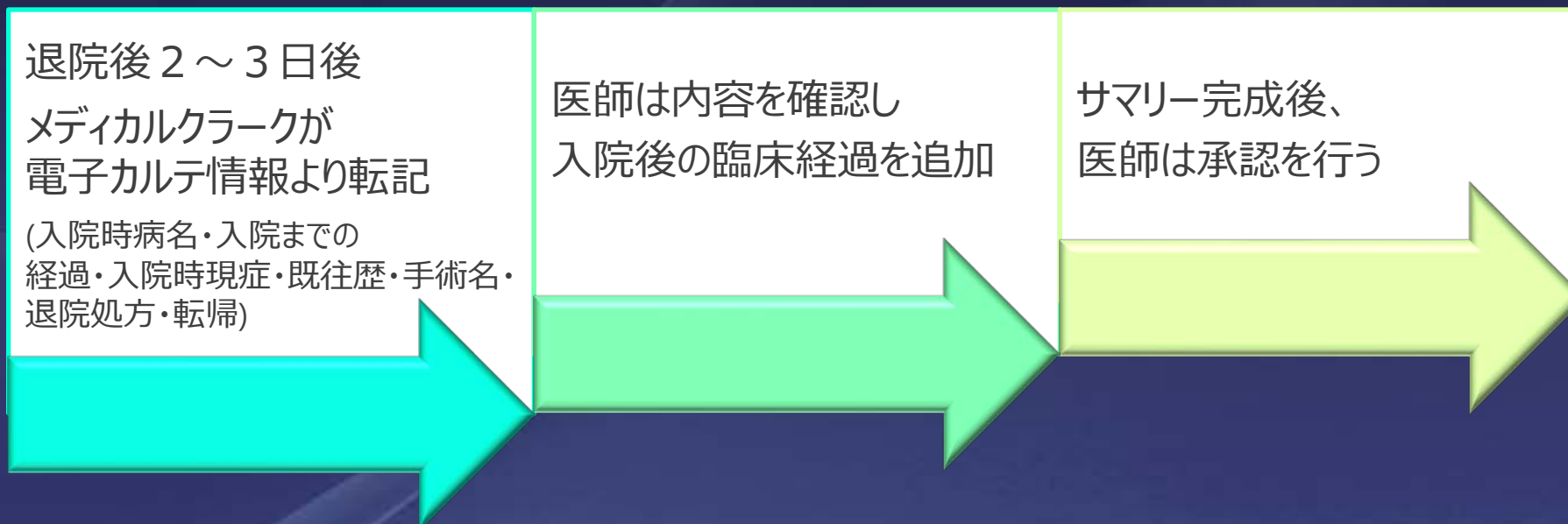
■ 退院サマリーの作成補助

診療録管理体制加算Ⅰ

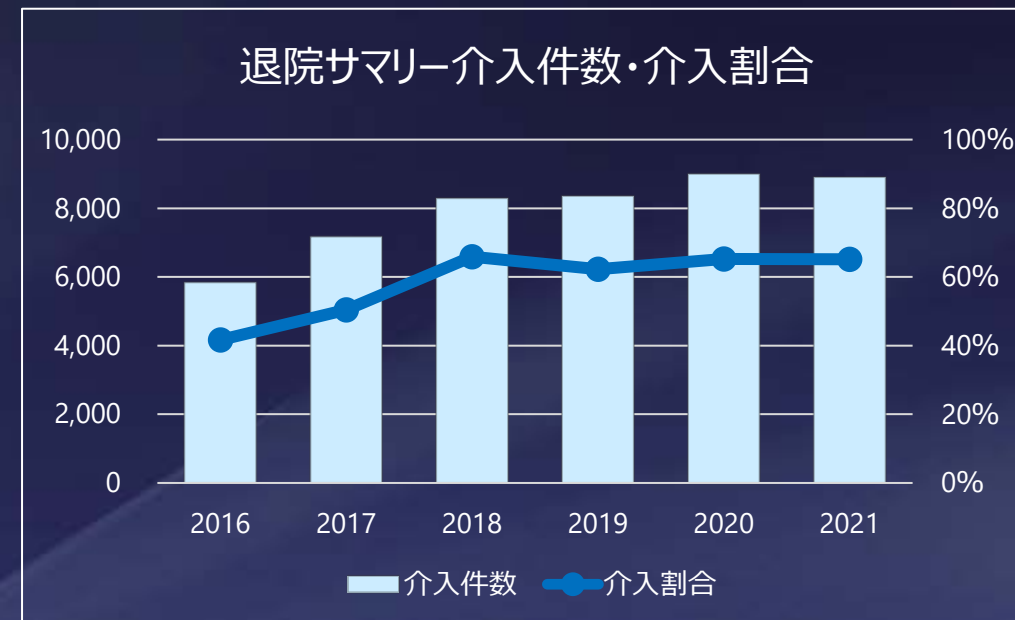
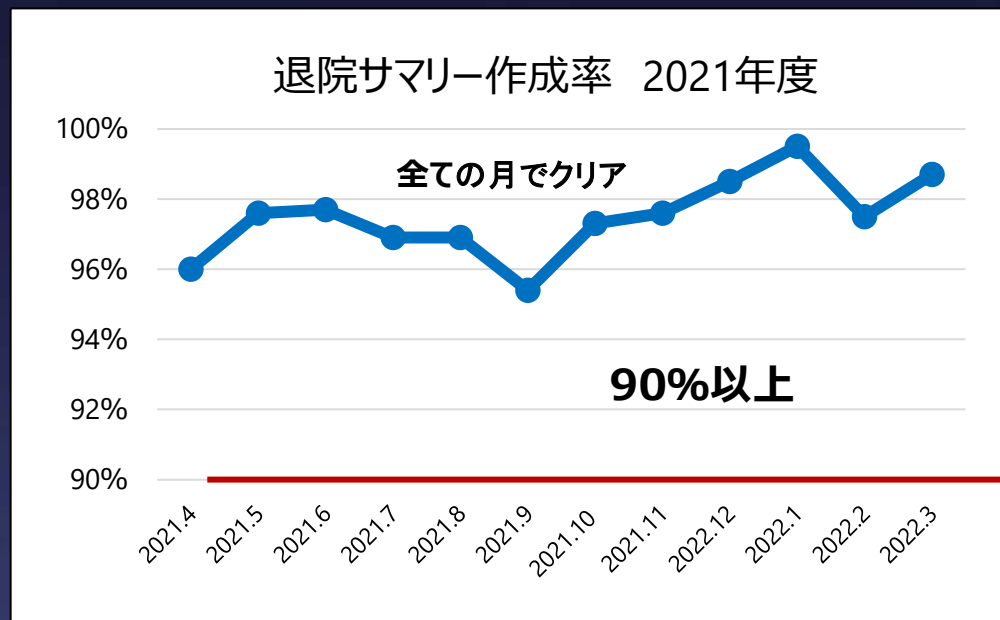
(退院日の翌日から14日以内に90%以上)

各科医師にメディカルーク介入について聞き取りを行った

↳ 9割の医師が介入希望であった



■ 退院サマリー作成率・介入率



医師事務作業補助者が退院日翌日に下書きを開始
★医師のサマリ作成時間短縮に貢献

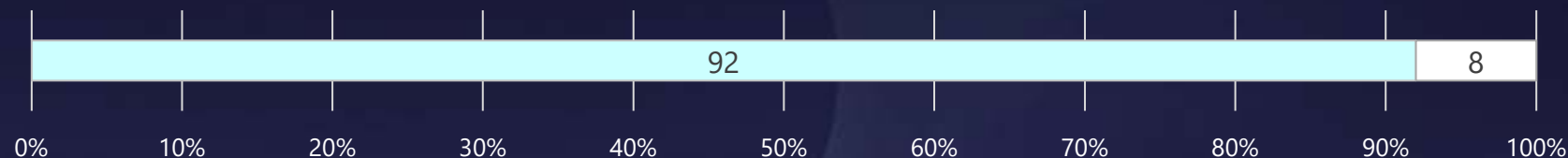
■ 人・物・時間・場所の共有化による タスクシェア / タスクシフト

- 1) 当院では多職種連携が実践されている。
- 2) 病棟は原則混合病棟であり、1看護単位35床で7～8診療科の患者が入院している。
- 3) 外来ブースについては、すべて同じ仕様となっており、診療科ごとのブースは存在しない。曜日時間においてブースが代わる。
- 4) 手術室の手術枠について、診療科ごとの曜日・時間帯などの枠はなく、フリーアクセスである。
- 5) システム、診療材料などについても診療科ごとにカスタマイズされず原則ノンカスタマイズとして共有化が徹底されている。
- 6) カンファレンスルームについても診療科ごとの固有の部屋はなく共同利用としている。
- 7) ワンフロアを総合医局として診療科ごとにパーティションで仕切られている。診療科の医師数の増減によってパーティションを移動することができるようになっている。

■ 医師事務作業補助者に関するアンケート調査結果報告(1)

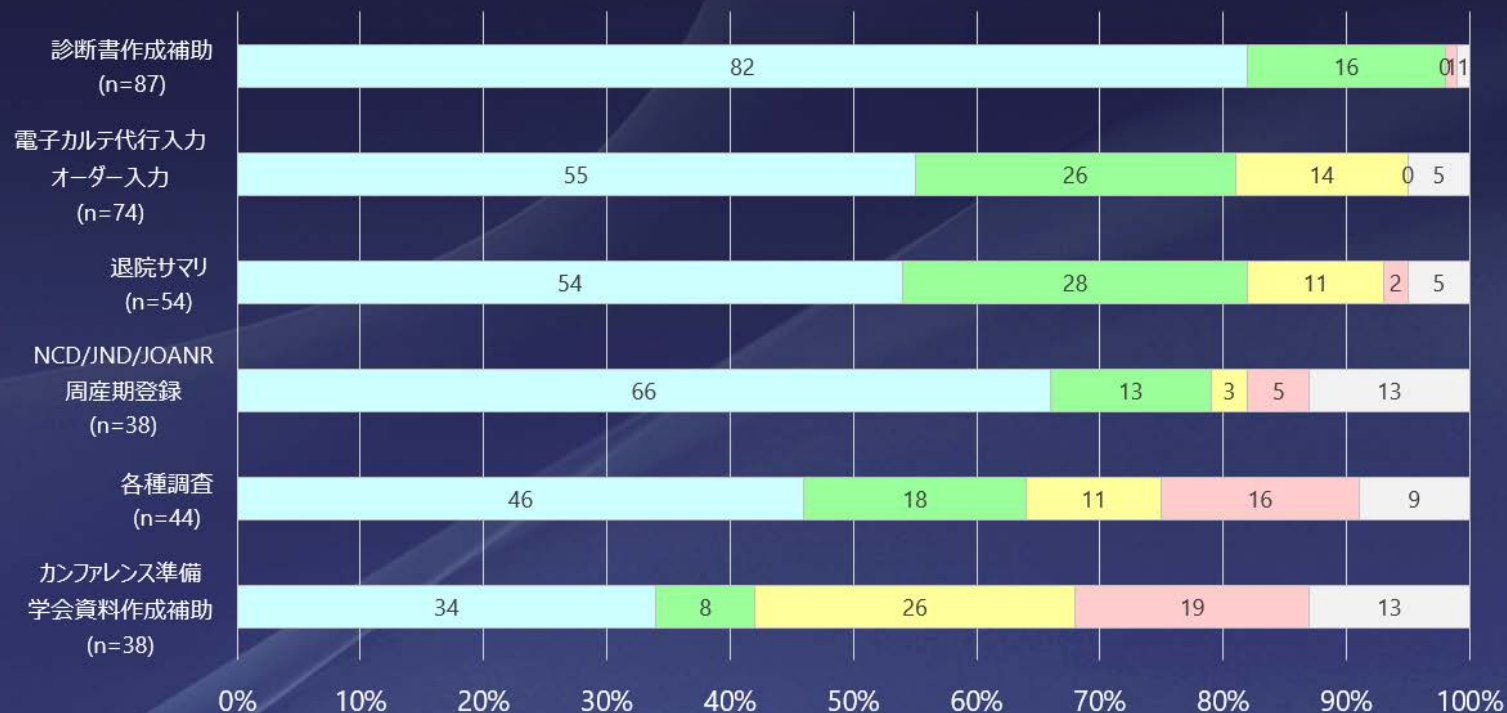
当院に医師事務作業補助者がいることを知っていますか。(n = 106)

■ 知っている ■ 知らない



業務軽減、時間短縮に効果はありましたか。(n = 106)

■ あり ■ ややあり ■ あまりなし ■ なし ■ 未回答



■ 医師事務作業補助者に関するアンケート調査結果報告(2)

総合的な満足度はいかがですか。(n = 93)

